

平成24年度 第3回環境審議会 会議概要

【日 時】

平成25年2月21日（木）16:00～17:00

【場 所】

市役所東別館9階 特別中会議室

【出席委員】

赤崎委員、有賀委員、内田委員、乙須委員、尾ノ上委員、及川委員、多々良委員（副会長）
遠矢委員、富安委員（会長）、山下委員

【次 第】

- 1 開会
- 2 報告
 - (1) 鹿児島市バイオガス施設整備基本計画について
 - (2) 鹿児島市環境基本計画年次報告書について
- 3 その他
- 4 閉会

【議事概要】

(○：委員、●事務局)

(1) バイオガス施設整備基本計画について

○本市では、もやせるごみが18万トン出ているが、バイオガスに使うのが、1日に90トンでは、もやせるごみに占める割合が10数パーセントしかない。もっと割合を増やせないのか。

●建設予定地が約1ヘクタールで、設置できる施設規模が90トン程度となる。また、本市の事業系の生ごみと紙ごみの全量相当が約90トンということもある。

○家庭系のごみをバイオガスにするのは、分別などが大変なのか。

●事業系ごみは、生ごみ・紙ごみ以外の発酵に適さないプラスチック類が入っている混入割合が、家庭系に比べて少ない。また、ごみ収集の関係で、分別方法をどうするかということもあるので、第2期整備の中で、家庭系のごみについて、どのような取り扱いをしていくかということも検討していきたい。

(2) 鹿児島市環境基本計画年次報告書について

○大気環境基準の未達成の要因として、桜島とか黄砂が上げられているが、そうすると今後も未達成の状況が続くと思うが、それらの要因を除いた数値が示せないものか。

●環境基本法に基づいて、全国一律に定められている。環境基準に関しては、自動車の排気など明らかに人為的なもので改善できるものがあれば、達成に向けて努力していき、自然によるものについては、現状を認識・把握していくものだと考えている。

○バスやトラックなどの排気ガスが大気環境基準に影響を与えていると思うが、市・民間問わずハイブリッド車などを取り入れる取り組みを進めていただきたい。

●市や運輸関係者などからなる環境対応車普及促進協議会において、環境対応車の普及を進める取り組みをお互い意見を出し合いながら行っているところである。